

A—81 キヌガサクロダネインゲンのアントシアン色素

奈良女大家政 ○沖田千衣子  
諏訪 紀子  
帝塚山学院短大 吉倉 和子  
奈良女大家政 浜口 陽一

1. 本研究室では、豆類のアントシアン色素について研究を続けて来た。しかし、キヌガサクロダネインゲンの報告をまだ見ないので本実験を試みた。キヌガサクロダネインゲンにはアントシアン色素が認められ、この色素成分について単離、結晶化、同定を試みたのでその結果を報告する。

2. 本学内で栽培したキヌガサクロダネインゲンの種皮を 0.5% 塩酸-メタノールで冷浸し、抽出液を集めて減圧濃縮後、カラムクロマト法、マスペーパークロマト法により分別結晶化をはかり、呈色反応、Rf 値、吸収スペクトル、加水分解物、部分加水分解等を調べ同定を行なった。

3. キヌガサクロダネインゲンの種皮中には、ペーパークロマトグラフィーにより少なくとも4種類の色素が認められた。得られた結晶のうち1種は標品と Rf 値が一致すること、加水分解によりデルフィニジンとグルコースから構成され、吸収スペクトル、呈色反応などより、デルフィニジン-3-モノグルコサイドであることを認めた。また他の2種は Micro-Zeisel 法により、それぞれメトキシル基を持つことを見出した。